

ランドソルから
遠く離れた異国の地。

都市部から離れた郊外では
公権力の目から隠れ
違法な闇オークションが
開かれていた。

売買されるのは
表には出せぬ盗品や
攫われた少年少女……。

そしてその中に――。



それでは本日の
オークションもこれにて
最後の商品となりました!!

最後にお見せするのは
本日の目玉商品!!

ご覧ください
この美しき少女を!!

おお!!

すばらしい!!

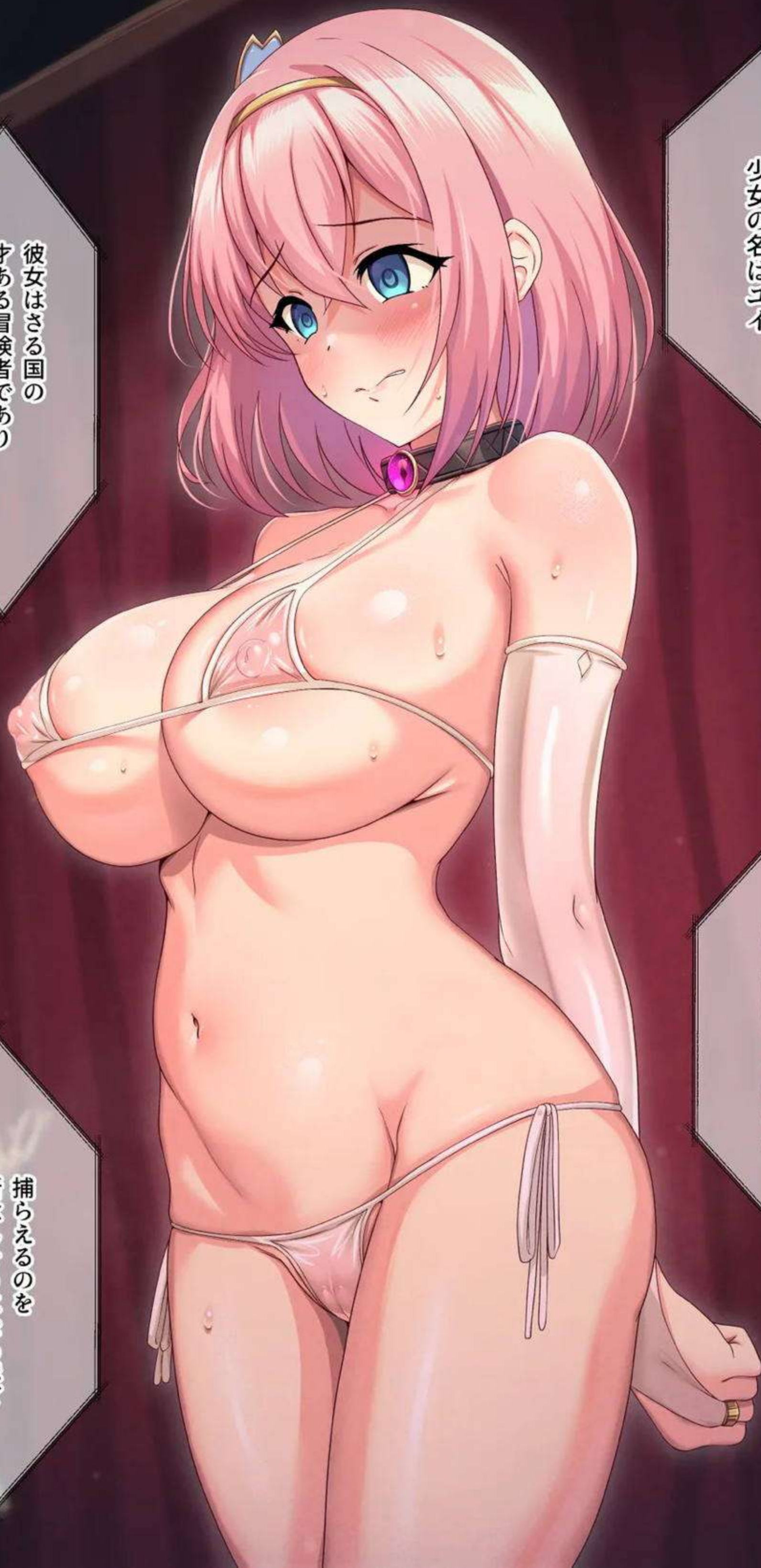


こちらの
少女の名はユイ

こちらに有利な地形で
罠に嵌めたうえでお

彼女はさる国の
才ある冒険者であり
我々が捕獲に向かった際も

捕らえるのを
断念しそうになるほど
強力な魔法師でした……



ですが彼女の仲間の
少年が捕まるや彼女は
少年を助けるために
自らの身を我々に
差し出したのです!!

なんたる献身!!
なんという美しくも
清らかな心の持ち主
なのでしょう!!

そして少女と共に
捕らえられた少年もまた
彼女を助けるべく
今は鉱山で採掘に従事する
日々を送っております!!

美しい絆で繋がった二人……
ですがもはや彼女の身体は
彼女の物でも、ましてや
少年のものでもないのです……



彼女の首を
ご覧ください

こちらの首輪は古代の遺跡より
発掘された魔道具であり
当オークションとっておきの
一品でございます

首輪に登録された
魔力の持ち主の命なくば
魔法の行使はおろか
呼吸、排泄さえも
ままならないのです

この首輪の力により
今の彼女は自分の意思では
指一つ自在に
動かすことはできません

生存の権利さえも
他者に依存する
家畜以下の存在――
まさしく哀れな
肉人形でございます!!



この魔道具のおかげで
彼女の身体は捕らえられた時の
状態のまま

我々は一切の手を
加えておりません

残念ながら現在のところ
一度付けた首輪を生きのまま
外す手段は判明しておらず
付け替えることは叶いませんが……

おい、アレは
なんとしても
手に入れる

あれなら
すぐにうちの
稼ぎ頭になる

くっ、さっきの娘を
飼っていなければ……!!!

これほどの美貌と肢体を
持ちながら正真正銘穢れなき
純潔の乙女でございます

落札された方には
こちらの魔道具をセットで
お譲りいたします!!



さあさあ前置きは
これくらいに
しておきましょう!!

落札できれば
この清廉なる少女の
身体と心を蹂躪する権利は
あなたのもの!!

抱いてよし!!
孕ませてよし!!
もちろん
稼がせてもよし!!

1000万から
スタートです!!

2000万!!

2600!!

4000万!!

たすけて……
騎士くん……







オークションで
異国の貴族に
落札されたユイ

連れ込まれた寝室で
「股を開け」と命じられる

抵抗する意思とは裏腹に
魔道具に支配された身体は
本人よりも主の意思を
優先し勝手にベッドに上る

そして男に向かって
見せつけるように
股を開き――。

ふむ
処女というのは
真のようだな

ちやうど魔法の才のある
胎が欲しいと思っておったのだ

ははらっ♪

無論、お主には
ワシの子を
産んでもらう

そうさな
最低5つは産んで
もらおうか

そんな……
人を物みたいにする!!

くはぁ
……

物であろうが
お主はワシが
買ったのだぞ?

……

ではさっそく
使い心地を
試してみるとするか

ズン

ひびく……

ズン

ふんふん……♡

ズン

ズン



ま、待つてくたさるう!!

お、お願いします

あ、わたし
好きな人がいて...

はじめは
その人と.....

ふむ.....
鉱山で働かされて
おるとかいふ小僧のことが



確かに嫌がる者を
無理矢理というのは
ワシの好むところではないな

時に……
お主の想い人とやらが
働いておる鉱山な

あれはワシの
所有してる山でなあ……

え……

ホッ……

!!

あ、ありがたう……



鉱夫というのは辛いぞお？

労働自体が厳しいのは
もちろんだが
環境がまた劣悪でな…

落石、生き埋め
砂塵による肺炎…
何人もが日々
命を落としておる

ああ、最近
殺しもあったと聞くな

あんな穴倉に
他に行く宛でもない
最底辺のクズどもが
詰め込まれているのでは
それも仕方あるまいか

そ、そんな……

それでも場所によっては
安全な働き場もあってのう…

お主がワシを
満足させられるのであれば
その小僧に便宜を
図ってやってもよろし
思っておったのだが……

……あ

サア

チヤッ♡

チヤッ♡

ゆら

ゆら



嫌というのであれば
仕方があるまい

ワシは別の女の
ふくよかさを好むわい

うん？

~~~~~

まだ待ってっ

待ってくださーい！！

ア  
.....





わたし、わたしが……  
あなたの相手をしたなら……  
騎士くんは……

ワシは約束は守る男でな

お主が望むのであれば  
その騎士くんとかいう  
小僧の待遇は考えて  
やらんでもない







oooooooooooooooooooooooooooo



わ、わたしが…  
わたしのはじめてを  
あなたにあげますから…  
どうか騎士くんは…っ

あげるだっ？

ずいぶんと  
偉そうなことだな

人にものを頼むのであれば  
相応の言い方というものが  
あるのではないか？

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡





どっとうかお願いですから!!

わたしのしょ、処女をっ

あなたに捧げさせてくださいっ!!







。。。。。。

。。。。。。  
そうも  
必死に懇願されては  
断れぬなあ

うっ。。。。

ワシが優しい主で  
よかったなあ。。？

。。。。。。

あーん。。。。  
いぢめ。。。。



ではお主の望み通り  
ワシがお主の最初の男に  
なつてやるとするか

入れるぞ  
さあ力を抜け

うーん  
Gooo

あー  
Gooo

あつ  
Gooo

うーん  
Gooo

グ  
Gooo





ひゅんひゅんひゅん

はっはっはっは

ひゅんひゅんひゅん  
あ、あああああつ!!

はっはっは

はっはっは

はっはっは



ほう、これは…  
最低限使えればよいと  
思っておったが…

くぐずいざんと  
具合の良い牝穴を  
持っており

穴としての素養もあるとは  
良い買物をしたな

はっ  
はっ

かっ

うたうたうたうた

この程度で喚くでない

だがまあ安心するがいい  
いずれこれなしでは  
いられないようにしてやるら

んっ…









まったく  
いやらしく  
揺らして  
おろして

大きく形の良い乳房だ

しかも張りもある  
孕めばさぞ質の良い  
母乳が出るであろうな

ふふふふふふ

あふあふあふあふ!!

ふふふ

ふふふ

は

んん

んん

いふふふ

あ

ふふふ

ふふふ









おはっ!!

な、なか...  
また大きくなってる...

ほう、わかるか

感度も良いようだな

これは男が  
もうすぐ出す  
というサインだ

これからはいれと合おせ  
膣を締め付けるのだぞ  
覚えておくこと

ズ  
チ  
ン

あ、え...?  
だ、だすって...  
ひっ.....

そ、そんなっ...  
そんなことしたら  
あ、赤ちゃんが.....

それが目的だと  
言っておるうに

それともやはり  
小僧のことは  
諦めるか?

理解できたようだな  
ワシの優秀な種で  
孕めることを  
精々光栄に思うがら

うあ.....  
ひっぐ.....

うわあ

ズ  
チ  
ン

うわあ

ズ  
チ  
ン

いやっ!!  
いやあっ.....!!

さあしかと  
受け止めい!!







（この…  
気持ち悪い感触…  
これ、男の人の…）

あ……

（その上でこんな…  
こんな人の赤ちゃん…  
できちゃうかもしれない…）

（でも……）

（なか…  
出されちゃった…）

なか…  
でてる…

（ラリーストキスも  
はじめても……  
全部奪われちゃって……）

うあ……

（それでも  
騎士くんを  
助けられるなら……  
わたしは……）

びび  
びび

びび  
びび



ふむ  
この初々しさは  
生娘を味わう  
醍醐味だが……

せっかく手に入れたのだ  
ついでに魔道具とやらの  
使い心地も  
試しておくとするか

確かこうして魔力を  
注げば良いのであったな

え。なにを……

ズル……

グロ……

グロ……

はぁ……

ん……

はぁ……







あ、ああアアッ!?

あがつ!?



「なんだこれっ!!」

「身体っ、あつらいつ!!」

「それに、頭のなか  
ぐちゃぐちゃに  
されてるみたいなの……」

「ふっ……  
精神系の魔法……!!」

「まさかこの首輪  
身体だけじゃなくて  
心まで……っ!!」

「だめ……  
抵抗できな……」

「あ、あああああつ!!」





くくく…  
なんだずいぶん  
熱っぽく潤んだ瞳で  
見つめてくるではないか

まるで恋する  
乙女のようにだな

ちが…ちがいます

わたしが好きなのは  
騎士クンで…  
騎士クンだけで…

(顔、熱い…♡  
恥ずかしくて  
この人の顔  
まともに見れない…♡)

お主の牝穴も  
ワシのモノが  
欲しいとくばくば  
吸い付いてきておるぞ

そんなに物欲しげに  
ねだられてはまた  
入れてやりたくなくて  
しまうではないか

あ、や…ちがっ…♡

ちがっ♡

ちがっ♡

ま…まっで…  
今さらなら、わたし…♡





ひあっ♡  
はっああああんっ!!♡♡♡♡

はっはっ

はっはっ  
はっはっはっはっ

入れただけで  
イキおった!!

はっはっ

はっはっ

はっはっ



（魔法の力で心を  
歪められてるって  
わかってるのよ……）

（わかってるはずなのに……  
この人がわたしを見てくれて  
嬉しいって思っちゃう♡）

（もっとわたしを見て欲しい♡  
もっとわたしに触れて欲しい♡  
もっとわたしを……愛して欲しい♡）

ぬう  
先と違い  
抱きしめるように  
絡みついできおる

ははっ  
よほどワシのモノが  
愛おしいようだな

あうっ……  
ちがうっ♡  
ちがうっ♡

あんっ♡  
あっ、あっ、あっ♡

強がることはあるまじ  
素直になれば  
もっと気持ちよく  
なれるのだぞ？









さあまた射精すぞ  
今度はどこに欲しい？

で、でも今は身体  
勘違いしちゃうて  
ますからっ♡

大好きな人と  
子作りしてるんだって♡

今なかに出されたら  
わたしの子宮  
絶対赤ちゃん  
作っちゃいますからあつ♡

な、なかはだめ♡  
だめ、です♡

ほう  
やはりだめか

あ……  
だ、だめじゃない……  
ですけど♡

ワシはお主を  
愛しておるぞお？

あいうえお



この人はわたしの……  
愛してくれて……  
わたしはこの人のことを  
愛してる……♡

（あれ……  
なんでわたしこの人のこと  
受け入れちゃダメなんだっけ？）

（……おかしな……  
どうして……  
わからなすぎる……♡）

あ、あなたの♡  
す、好きに……♡

中……  
……

あ……♡  
……♡

わたしは……♡  
あなたのものだから……♡

……♡



ははは  
愛の奴だ

ならばこれからは  
ワシのことは  
ご主人様と呼ぶがらう

そうすればお主の  
望むところだワシの精を  
吐き出してやろう

はひっ♡  
ご主人様あつ♡

なかっ♡  
なかに出してくださいっ♡

ご主人様のあつくて  
どろっとしたのっ♡  
なかにいっぱい欲しいんですっ♡

びゆるびゆるうっで  
奥にたくさん  
注ぎ込んでくださいっ♡

ぬる

あつ♡あつ♡  
わたしもおっ♡  
いくっ♡いくっ♡  
いくっ♡いくっ♡







♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡

ハッハッ

ハッハッ

「あたしの一番奥が  
この人の…  
うんうんと主人様の精液で  
いっぱいになってる♡」

「あたたかくって  
きもちよ〜♡」

ハッハッハッ

「すっごく幸せえ……♡」

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッ





卷二

「まだして……  
もらえるんだ……♡」

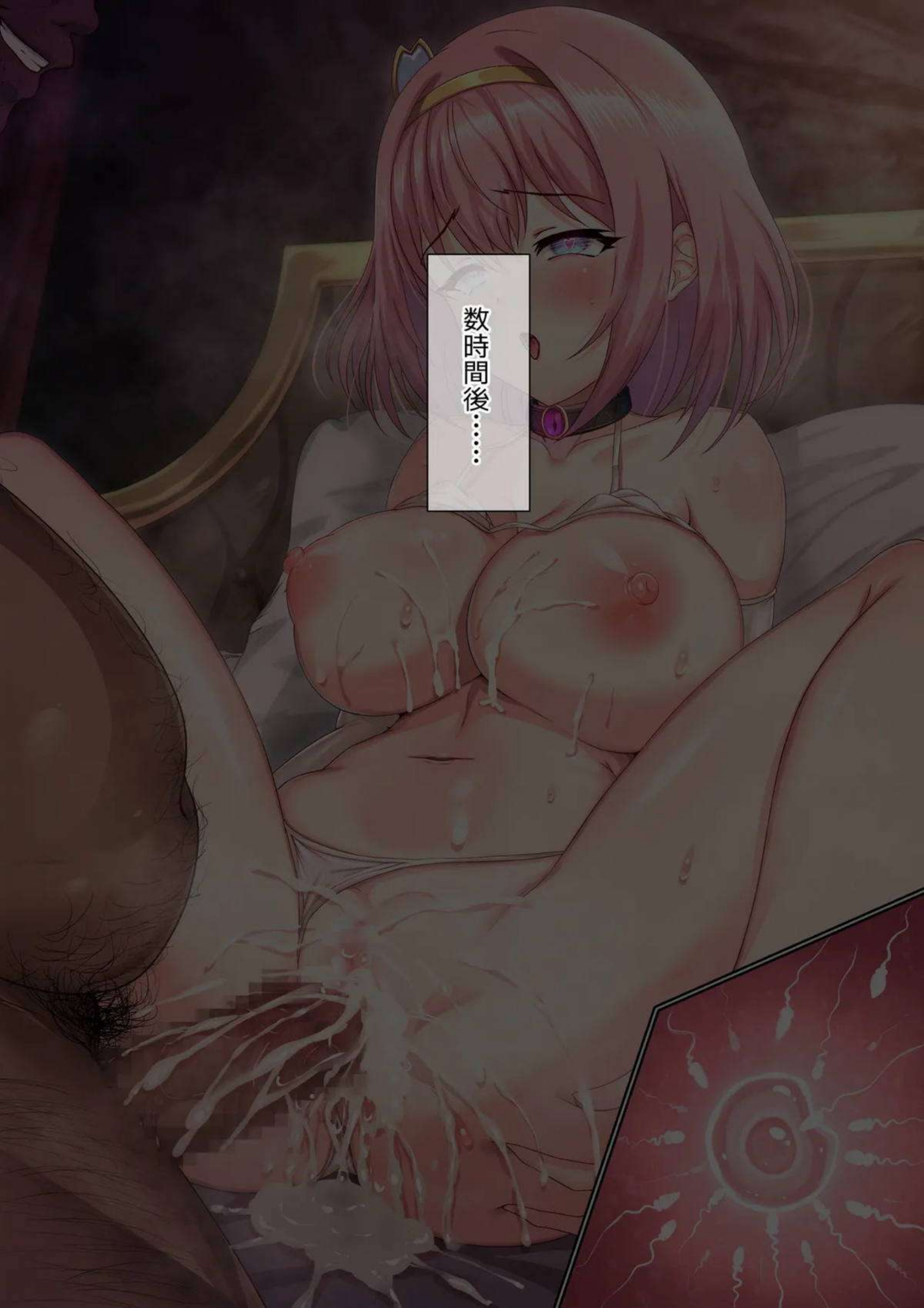


ALL







A manga-style illustration of a young woman with short, wavy pink hair and a yellow headband with a blue cat-ear-shaped ornament. She is lying down, looking slightly to the side with a faint smile. Her chest is exposed, and her breasts are large and pinkish-red. She is wearing a black choker with a purple gem. The background is dark and indistinct. A large, stylized, light-colored splash or liquid is visible in the bottom left corner. A speech bubble is positioned over her face.

数時間後……



ガッ

んお……♡

おっ……♡

くく、無論  
性奴隷も  
兼ねてもらうかな

あ……はあ……♡  
つま……せのろれ……  
うれひいれす♡

ごひゅじん……しやま……♡

(ほわほわして……  
みたされて……  
とってもしあわせ……♡)

(……でも  
なにか……たのせつなことを  
わすれてるような……)

ふふ  
もう夜明けか  
少々物足りぬが  
今日のところは  
ここまでとしておこうか

ズン  
実に良い具合だった  
気に入ったぞ

ただの孕み袋で  
終わらすのは  
もったいない

お主をワシの  
妻の一人として  
迎え入れよう

ドゥ……

ドゥ……

ドゥ……

(……いつか……だって  
こんなにかもちいんだもの♡)

ズン

つが……♡  
とく……♡  
とく……♡







そして月日は流れ……

毎夜のごとく  
心を歪められ、  
男に犯され、  
男の種を注がれ続けた  
ユイのお腹には  
当然の帰結として――。









はあ  
はあ  
♡♡

ふふ  
お疲れさまでした  
ご主人様♡

今日もとても  
素敵でした♡

子を孕んでいても  
お主の具合の良さは  
変わらぬな

つい夢中に  
なってしまった

お褒めいただき  
光栄です♡



聞いたぞ  
腹の中にあるのは  
双子だそうだな

はい  
お医者様もとても  
元気に育つてると

ふアレと合わせて  
もう三人か

まったく  
孕みやすい腹だな

ああん……♡  
申し訳ありません  
ご主人様♡

ですがわたしの子宮が  
ご主人様のこと好き過ぎて  
どうしてもご主人様の  
赤ちゃん作ってしまうんです♡



もう  
あの小僧のことは  
良いのか？

あやつは未だにお主を救おうと  
暗い穴倉の中で必死に小石を  
掻き出しておるらしいぞ

スー

騎士さん……  
ですか……







もうあの人のことを  
考えても何の感情も  
湧かなくなつて  
しまいました……

わたしを  
満たしてくれるのは  
ご主人様だけ……

ご主人様に愛していただき  
ご主人様の種で孕み、  
ご主人様のお子を  
産み続けること……

それだけが  
わたしのすべて♡  
わたしの幸せ♡

他の男のことなんて  
知りません♡



ほう  
ではその小僧を最も環境の過酷な  
最下層に送っても構わぬな？

……ご主人様のご随意に

酷い女はお嫌いですか？

~~~~~酷い女だ

いや、我が妻に相應しい

つまらん話をしたな

さあまだ夜は長い
昔の男のことなど忘れ
我らはたつぷりと
愛を交わそうではないか
なあ、ユイ？

はいご主人様♡
ユイにご主人様の
ご寵愛をくださいませ♡

そして願わくば
これからご主人様の
お子を孕み続けることを
お許しくださいませ……♡



もうそこにはかつての
清純で心優しい乙女の姿はない。

仲間、思い出、大切な人……
すべてを忘れて
愛しいオスの与えてくれる
幸福な快楽に溺れる
一匹のメスが
いるだけであつた……。

never-ending♡











































































